



PET容器のキャップ2カ所に2台のインクジェットプリンタで印字

# 日本アスパラガス株式会社

飲料の安全・安心を守る最新鋭の無菌充填ラインで、  
北海道のパッカー業界をリードする。

お茶や炭酸飲料、コーヒーをはじめ、

数多くのソフトドリンクを受託生産する日本アスパラガス株式会社。

2014年6月、大手メーカーをのぞいては道内初となる最先端の無菌充填ラインを  
千歳工場に新設することで、道内において確かな地位を築いています。

今回は、新千歳空港にほど近い日本アスパラガス 千歳工場をお訪ねし、

無菌充填ラインによるフードディフェンスの最先端の取り組みと、

飲料の品質を守るための印字システムなどの

日立産機システムの製品をご紹介します。



## 日本アスパラガス株式会社

代表取締役 工藤 祐之

設立 1951年11月

所在地 本社:岩内工場  
北海道岩内郡岩内町  
字野束22-3

千歳工場

北海道千歳市北信濃864-6

従業員数 190名

事業内容 清涼飲料水の製造  
(PET・缶・ボトル缶)

<http://www.nichiasu.co.jp/>

## 清涼飲料水製造メーカー



本社・岩内工場で製造される自社ブランドの清涼飲料水



日本アスパラガス株式会社 千歳工場 常務取締役 久保博康 様

### 食の安全・安心を実現するとともに、 「品質」「誠意」「調和」、地域との連帯をめざす

北海道岩内郡岩内町に本社・岩内工場と千歳市に新鋭の千歳工場を置く日本アスパラガス株式会社は、ソフトドリンクなどの飲料を受託製造するメーカーです。年間生産高は約2,000万ケース。道内でシェア30%、第2位を占め、OEM製造・ボトリングを行うパッカーと呼ばれる業界において確かな地位を築いています。

「当社の創立は1951年。社名の通り、岩内を発祥の地とするアスパラガスを主とした農産缶詰を製造していました。1980年には清涼飲料製造へとシフトしますが、ニセコ山系から流れ出る良質な湧水や天然水、海洋深層水にも恵まれた岩内の地が、当社の発展を支えてくれました」と常務取締役の久保博康様。

業界内で「日アス」として親しまれている同社の姿勢は、「3A」と呼ばれるトレードマークに集約されています。それは

社名のアスパラガス(ASPARAGUS)に含まれる3つのAに、「品質」「誠意」「調和」のイメージを重ね、それらをつなぐ二重の環で地域との連帯を表わすというもの。この“3A”に誇りと責任を持って、良質の製品を生み出し、地域社会の発展と企業の繁栄に努めること、それが創業以来変わらない日アスの企業理念です。

「食品を扱う企業にとっては安全・安心が第一。自分の子どもや家族にぜひおいしく飲んでほしい!というスタンスでつくっています」と久保様。その言葉通り、2013年には国際食品安全イニシアチブ(GFSI)が制定した食品安全規格の新スキームであるFSSC22000認証を取得しています。さらに安全・安心を追求する姿勢を具現化するために、千歳工場では、道内のパッカーでは初となるアセプティック充填(無菌充填システム)ラインを2014年6月に導入。高い無菌レベルながら、使用する電気、ガス、水使用量などのランニングコストが従来の半分程度に低減できるため、省エネに貢献する「先端生産設備導入事業」にも認定されています。

## 他品種、少量生産にも対応できる アセプティック充填ライン

日本アスパラガス株式会社では、千歳工場が北海道最大の消費地、札幌に近いうえ、本州と北海道を結ぶ物流面でも優れているところからこれからの主力工場と位置づけ、さらに業界内での競争力を高めるために最新鋭のアセプティック充填ラインを導入しました。

このラインの特徴は、容器メーカーから調達したPET容器を使い飲料充填後に殺菌するのではなく、無菌のライン内でプリフォームというPET容器の小さな“元”を高圧エアでふくらませて、瞬時に飲料を充填できること。

「容器のデザインや飲料のレシピは、お客さまであるブランドオーナー（大手飲料メーカー）によって異なりますが、それをすべて同一のラインで安全にこなすことができます。つくる製品が替わるたびに充填機の型替えをすれば、1日に何種類もの飲料を充填することができます」と、取締役千歳工場長の国松政人様は語ります。「型替えでは無菌環境を維持するだけではなく、匂い移りなどに細心の注意を払わなければなりません。ここで働くスタッフの感性は検査時の数値には現れない微妙な差異も見逃しません」。

アセプティック充填ラインは飲料の調合時から無菌ですが、万が一菌が発見された場合は、いつの製品から不具合

が生じたかを追跡できる管理システムが確立されています。そこで活躍するのが日立産機システムのインクジェットプリンタやレーザマーカ、印字検査機です。「飲料の容器に印字された賞味期限などの管理情報を表す文字にかすれやゆがみがあつては消費者の満足は得られません。だから印字も品質の一部です」と、国松様。

このアセプティック充填ラインに日立産機システムの製品が選ばれたのは、30年にもわたって岩内工場においてインクジェットプリンタや印字検査機などの製品をご採用いただいてきた実績があったから。「食の安全・安心を守るフードディフェンスという見地から、印字システムは重要です。これまでの実績は実績として、今後も最新鋭の機器やシステムができれば、すぐに提案してください」と、国松様からは期待のお言葉をいただきました。



日本アスパラガス株式会社 千歳工場  
取締役工場長 国松政人 様



パッケージライン全景



新たに導入されたインクジェットプリンタ



確実に印字していくプリンタヘッド



キャップの曲面でもきれいに印字



日本アスバラガス株式会社 千歳工場 製造課  
課長代理 下山貴志 様 (右)  
係長 近藤 健 様 (左)

## フードディフェンスの最前線を切り拓き、 地域社会のさらなる発展に貢献する

2006年にブランドオーナーから移管された千歳工場では、当初は既存設備のメンテナンスなどにより生産機能を維持していましたが、2013年の春には、アセプティック充填ラインの導入が検討されるようになりました。

製造課長代理の下山貴志様によると、2013年5月早々には日立産機システムとの商談を始めたものの、建築工事に着手できたのは11月末。建屋の完成、試験運転を経て、竣工式を迎えたのは翌2014年6月26日というから、まさに電光石火の早業でした。

「私どもにとって初めての挑戦だったので、すでに同種のラインを導入している親会社に出向き研修を受け、製品保証とは何か、無菌とは何か、など必要な概念や知識、技術をみっちり学んできました」と下山様。フードディフェンスの重要性を改めて実感したといいます。

日立産機システムのインクジェットプリンタやレーザーマーカはPET容器に賞味期限や製造工場の固有記号などを印字するという機能は同じですが、下山様によるとライン構成は異なるとのこと。「インクジェットプリンタは、キャップへの賞味期限印字などの後工程エリアに設置していますが、レーザーマーカは、充填、キャッピングの直後のエリアに設置

しています。これでブランドオーナーにとっては印字方法の選択肢が広がり、当社にとってもビジネスチャンスが広がることにつながります」。

アセプティック充填ラインの稼働開始からすでに半年。日立産機システムのこれまでの対応については、「機器を売るだけの会社もありますが、日立産機システムさんはいつでもいねいに対応してくれるのでありがたい」とのこと。「納入機種に関して、どんな質問や相談をしてもしっかりと回答してもらえるので助かります。近くまで来たので見に立ち寄りました、とサービスの方がフォローしてくれるのもうれしいですね」と製造課係長の近藤健様にもお答えいただきました。

「道内でさらに業界をリードしていきたい」と語る久保常務。新ラインのさらなる導入も今後検討していきたい、といいます。そこには省エネや環境配慮、地域産業の振興や雇用にも貢献したいという思いがあります。日立産機システムは、その熱意に確かに応えしていかなければなりません。



印字の正確さをチェックする印字検査機



モニタで1本、1本を確認しチェック



日アス様では初めて導入されたレーザーマーカ



日立産機システム製のコンプレッサー



無菌充填システムに欠かせないクリーンルーム



インクジェットプリンタ、レーザーマーカ、印字検査機 (左から)

## お客さまのベストパートナーをめざして

## 日立産機システム 製品関係者

食品の安全・安心を守る  
設備を、全力で守る誇り

インクジェットプリンタを専門とするサービススタッフとして、日アス様とは25年もお付き合いさせていただいています。品質を守る大切な設備なのでトラブルが起きればいつでもどこでも駆けつけ対応するなど、ご信頼にお応えしてきました。



株式会社 日立産機システム  
北海道支社 サービス・エンジニアリング部 サービスグループ  
技師 佐藤恵一

広大な北海道を駆け抜け  
提案する、予防的メンテナンス

故障してから駆けつけるのでは遅すぎます。当社製品をお使いいただいている日アス様はじめとするお客さまを定期的に巡回。設備や機器の状態を正確に把握し、予防的にメンテナンスすることでお客さまの生産ラインを守っています。



株式会社 日立産機システム  
北海道支社 サービス・エンジニアリング部 サービスグループ  
本荘英俊

お客さまの発展に貢献できる  
営業スタッフとして

日アス様はいつも厳しいご意見をいただける大変ありがたいお客さまです。これからは省エネや環境の高い製品、競争力アップに貢献できる製品をご紹介します。お役に立っていきたく思います。今後も深く長いお付き合いができる関係づくりに取り組んでいきます。



株式会社 日立産機システム  
北海道支社 営業グループ  
主任 磯野孝継

## 日立産機システム 北海道支社



### 日立産機システム 北海道支社

〒063-0814  
北海道札幌市西区琴似四条1-1-30  
TEL:011-611-1224 FAX:011-611-8433

1956年に日立製作所札幌営業所商品課として発足、2002年には日立産機システム北海道支社に名称を変更し、15名の営業スタッフ、31名のサービス・エンジニアスタッフ、14名の産機テクノサービスのスタッフが力を合わせて広大な北海道のお客さまのニーズにお応えしています。